

ご利用案内

通常投映日時＝土・日・祝日

※平成 29 年 12 月 29 日(金)～平成 30 年 1 月 3 日(水) 年末年始休館

通常投映時間・内容(1 月～3 月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
フィールドオブヘブン	神秘の光・オーロラ	4D2U コズミックビュー
プレアデス神話	ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検3 ～地球のふしぎ～	1 秒ちよっと前の月
たいようくんとおつきちゃん	星空解説	星空解説
ほしのおはなし(星空解説)	※1/20(土)「親子プラネタリウム」は 別内容となります。	

※ご希望による投映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上(個人)	510 円
高校生以上 (団体 20 名以上)	410 円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート 1 枚につき、
高校生以上 1 名無料

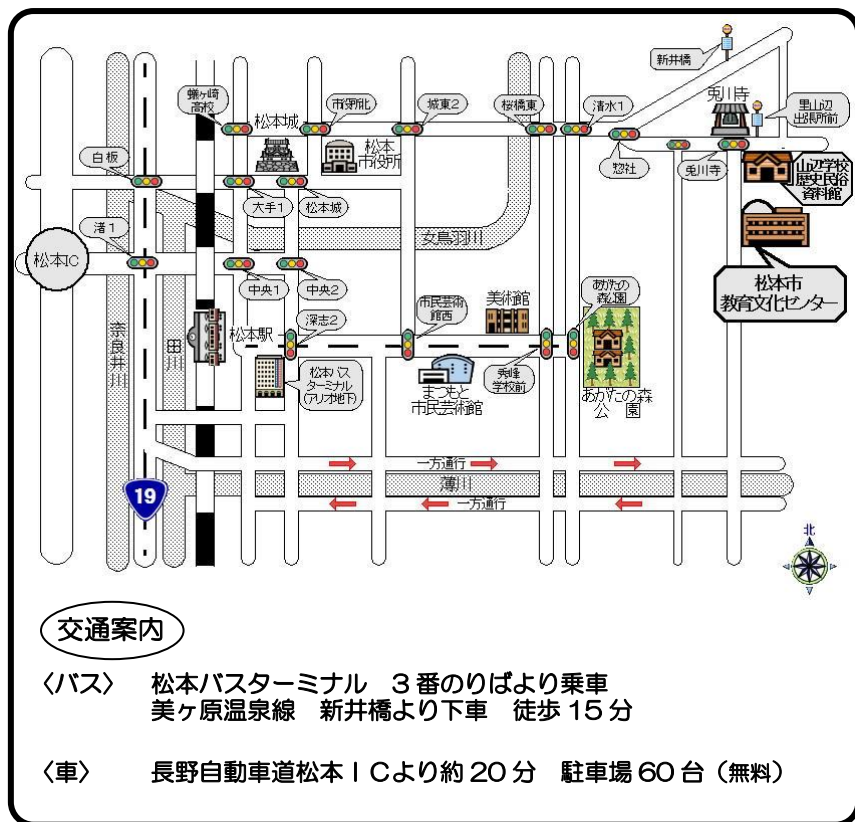
☆転入世帯優待券 1 枚につき、
1 世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、
本人とその介助者 1 名無料

☆市内在住 70 歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



交通案内

〈バス〉 松本バスターミナル 3 番のりばより乗車
美ヶ原温泉線 新井橋より下車 徒歩 15 分

〈車〉 長野自動車道松本 I C より約 20 分 駐車場 60 台 (無料)

松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

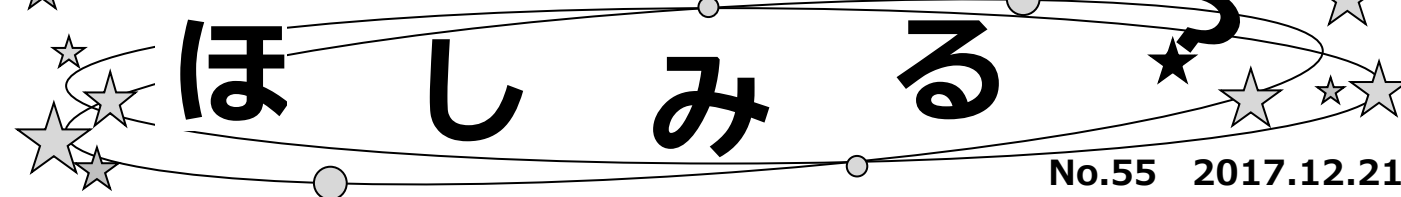
E-mail: kyoubun@city.matsumoto.lg.jp

星空クイズ! (幻の星座編)

現在は存在しない星座はどれ?

- ①らしんばん ②しぶんぎ
③ろくぶんぎ ④はちぶんぎ

★ 教育文化センター プラネタリウム通信



No.55 2017.12.21

2018 年も星空とともに

2018 年で特に注目すべき天文イベントは、1 月と 7 月に 2 回起こる皆既月食です。また、火星大接近やはやぶさ 2、彗星の接近など、見どころの多い 1 年になりそうです。

2018 年の主な天文情報

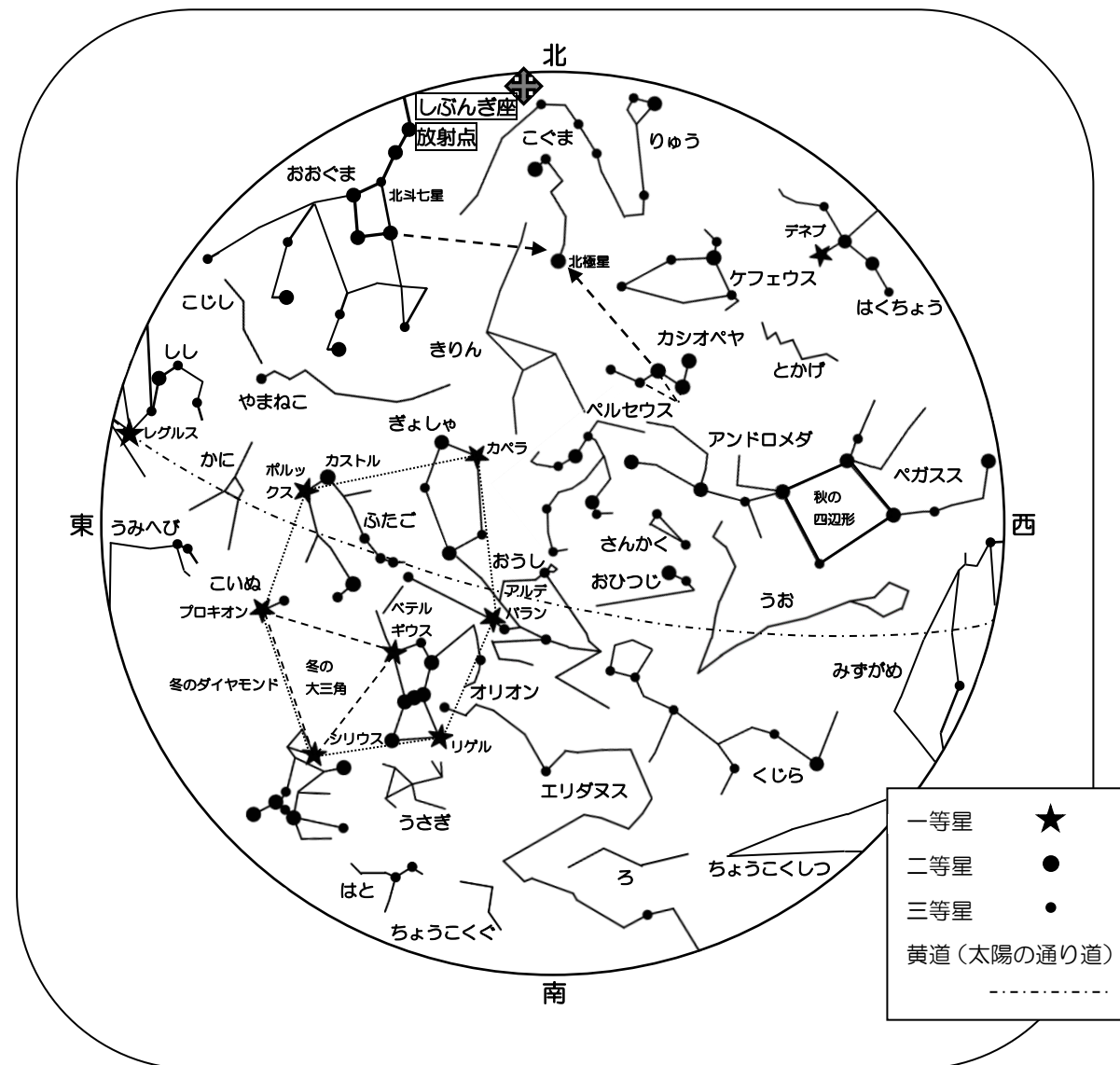
- 1/4 しぶんぎ座流星群が極大(月明かりの影響を受け、観測しづらい)
- 1/31 皆既月食
- 2/2 レグルス食(星食) ※レグルスはしし座の 1 等星
- 5/9 木星がてんびん座で衝
- 6～7 月 探査機はやぶさ 2 が小惑星リュウグウに到着予定
- 6/27 土星がいて座で衝(輪の傾きが大きい)
- 7/28 皆既月食(月没帯食)、火星がやぎ座で衝
- 7/31 火星が地球に大接近(15 年ぶりの大接近)
- 8/13 ペルセウス座流星群が極大(月明かりの影響がなく、観測に最適)
- 8/18 金星が東方最大離角
- 9/21 金星が最大光度
- 9/24 中秋の名月
- 12/2 金星が最大光度
- 12/14 ふたご座流星群が極大(23 時以降は月明かりの影響がなく、観測しやすい)
- 12/16 ウィルタネン彗星が地球に最接近(おうし座付近で 3.5 等級と予想)

主な天文用語

- ★1 流星群 → 毎年決まった時期に、空の 1 点から流星が放射状に飛び出す現象。地上からは、特定の星座から流星が飛び出して見えるため、流星群ごとに星座の名前が付けられます。特に有名なのは、三大流星群と呼ばれる「しぶんぎ座流星群」「ペルセウス座流星群」「ふたご座流星群」です。
- ★2 極大 → 天体の活動が最も活発になること。流星群の場合は、最も多く流星が現れる期間を指します。
- ★3 皆既月食 → 月が地球の濃い影(本影)に入り込み、月全体が暗くなったように見える現象。月食の最中に月が地平線に沈んでいくことを「月没帯食」といいます。
- ★4 星食 → 惑星や恒星が月によって隠される現象。惑星が隠されるときは「惑星食」とも呼ばれます。
- ★5 衝 → 外惑星(火星、木星、土星、天王星、海王星)が地球を挟んで太陽と正反対の位置にあること。このとき惑星は一晚中観測でき、大きく明るく見えます。
- ★6 最大離角 → 地球に対して、内惑星(水星と金星)が太陽から東または西へ最も離れて見えるとき。地上から見る惑星の高度が大きくなるので、観測に適しています。東方最大離角の時は日没直後の西の空、西方最大離角の時は日の出前の東の空で惑星が見えます。
- ★7 光度 → 地球から見たときの天体の明るさ。最大光度のときに最も明るく見えます。
- ★8 彗星 → 氷やちりてできた小天体が、太陽に近づき温められることで、ちりや水蒸気が放出し、長く尾が引いているように見えるもの。「ほうき星」とも呼ばれます。

季節の星空

1月15日20時頃の松本の星空



1月の主な天文情報

- 2(火) 満月(スーパームーン)、水星が西方最大離角(日の出直前)
- 4(木) しぶんぎ座流星群が極大(月明かりの影響を受け、観測しづらい)
- 7(日) 火星と木星が最接近(午前2時頃～日の出直前)
- 11(木) 月と木星、火星が接近(午前2時頃～日の出直前)
- 13(土) 水星と土星が最接近(日の出直前)
- 15(月) 月と水星、土星が接近(日の出直前)
- 17(水) 新月
- 31(水) 満月(ブルームーン)、皆既月食

★
★
★
★

2018年の初日の出
新年最初の朝に太陽が上ることを、「初日の出」といいます。日本では古くからの風習により、初日の出を拝むことで1年の願いや決意を祈ります。
松本では、初日の出を6時59分に迎えます。四方を山で囲まれているため、地域によってはやや遅れて現れるかもしれません。日の出直前が最も冷え込む時間帯なので、暖かい格好をして風邪をひかないようお気を付けください。

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

1/20(土) ☆親子プラネタリウム 13:30～

親子連れの方を中心に楽しめる、番組の投映と解説を行います。
今回のテーマは「太陽系」です。
申し込み不要。当日先着 90 人

2/3(土) ☆星空音楽館 15:00～

プラネタリウムで星空を見ながら音楽を鑑賞しましょう。
今回のテーマは「平成 29 年度リクエスト特集」です。
申し込み不要。当日先着 90 人

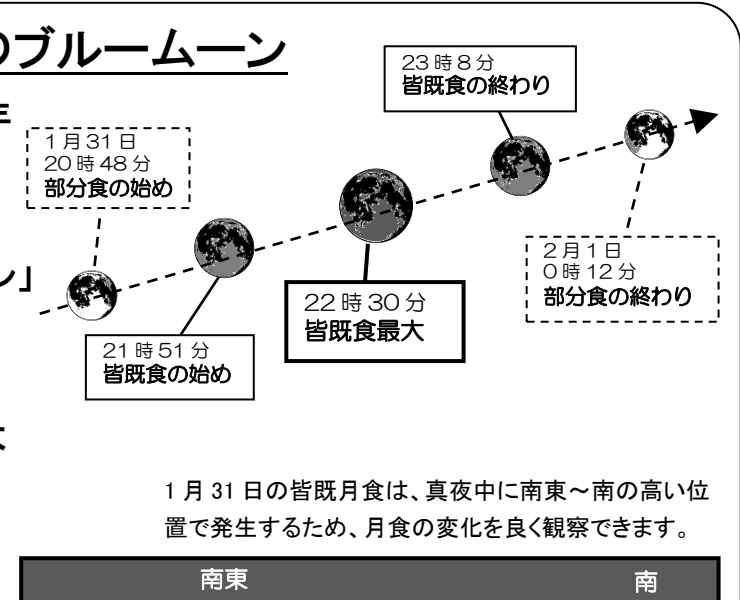
赤銅色のブルームーン

新年最初の天文イベントといえば、例年ならしぶんぎ座流星群ですが、今回は月明かりがあり見づらくなります。代わりに目立つのが、1月2日の「スーパームーン」と31日の「皆既月食」です。

2018年1月は満月が2回起こります。
1回目は2日に発生し、2018年最も大きい満月(スーパームーン)となります。

2回目は31日に発生し、この時は月全体が地球の濃い影に入り込む「皆既月食」となります。月が影に入り込むと徐々に暗くなっていきますが、真っ黒になるのではなく、赤銅色と呼ばれる赤黒い色に染まります。

1か月のうちに2回満月が起こることを「ブルームーン」と言い、最近ではその2回目の満月をブルームーンと呼ぶことが多いようです。実際に青い月となる訳ではないのですが、冬の満月は高い位置にあるので、青白く感じやすいかもしれません。

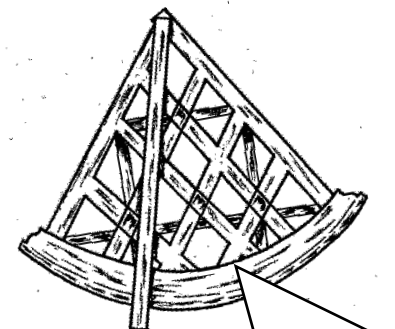


1月31日の皆既月食は、真夜中に南東～南の高い位置で発生するため、月食の変化を良く観察できます。

六と八は残れども

しぶんぎ座流星群は、毎年1月4日の夜明け前に見頃を迎える流星群です。三大流星群の中でも、活動期間が短く出現数にムラがあるのが特徴です。放射点(流星が飛び出してくる点)がりゅう座ι(イオタ)星に近いことから「りゅう座ι流星群」とも呼ばれます。

しぶんぎ座は現在は存在しない星座で、天体観測器具の「壁面四分儀」に由来します。同じく観測器具が由来である「ろくぶんぎ座」はしし座とうみへび座の間に、「はちぶんぎ座」は天の南極付近に現在もあります。



四分儀

円の4分の1(90°)の扇形に目盛りをして、円の中心に可動式の定規を取り付けたもの。天体を観測しながら高度を測定できます。

円の6分の1(60°)の扇形が「六分儀」、8分の1(45°)が「八分儀」となります。